

12

給水装置工事図面作成

12 給水装置工事図面作成

1 解説

給水装置工事申込時に作成する図面は、施工時の指針となるものであり、竣工時に作成する図面は、給水装置の適切な維持管理及び将来における調査資料となる為、正確かつ分かり易いように作成しなければならない。

2 図面の定義

(1) 平面図

道路及び建築平面図に、給水装置及び配水管の位置等を図示したもの。

(2) 立面図（アイソメ・アクソメ図）

給水管の配管状況等を 30° ・ 45° の角度から立体的に図示したもの。給水装置及び配水管の位置を記入する。

(3) 管割図

ダクタイル鋳鉄管の接続状況等を図示したもの。ただし、ダクタイル鋳鉄管を使用する場合に限る。

(4) 先行取出概要図

申請地における先行取出しの状況及び認定 No.を図示したもの。ただし、先行取出給水管を使用する場合に限る。

(5) 給水管系統図（平・立面図）

道路及び建築平立面図に、給水装置及び配水管の位置を図示したもの。

(6) 占用平面図

配水管から申請地までの占用長さを図示したもの。掘削数量等を面積で示すもの。

(7) 占用断面図

配水管から申請地までの占用長さを断面表示したもの。掘削数量等を体積で示すもの。

3 図面作成時の注意事項

(1) 給水装置工事申請図【給水装置工事申込図面及び竣工図】

(ア) 平面図

(A) 方位・縮尺

原則として方位は北を申込書の上方とし、縮尺は $1/100\sim 1/200$ 程度の範囲において適宜作成すること。

(B) 布設する給水管の口径・管種・管長・位置及び量水器・給水用具の取付け位置を図示する。

(C) 道路の種別（舗装種別・幅員・歩車道区分・道路区分・水路・U/L字溝等）を図示する。

(D) 公私有地、隣接敷地の境界線及び敷地寸法を図示する。

(E) 分岐する配水管及び既設給水管等の管種・口径・管長を図示する。

(F) その他、工事施工上必要とする事項（障害物の表示等）を図示する。

(G) 上記以外の事項については、企業団に確認すること。

- (イ) 立面図（アイソメ・アクソメ図）
 - (A) 縮尺はフリーとする。
 - (B) 平面図に準ずる。（平面図との整合を図ること。）
- (ウ) その他
 - 貯水槽式給水の場合は、直結給水部分（貯水槽の入口であるボールタップまで）と貯水槽以降に分け、貯水槽以降の図面には水栓マークのみ図示する。立面図は、直結給水部分のみ記載する。撤去管の位置を図示する。
- (2) 給水管系統図【3階直結及び増圧式給水事前協議】
 - (ア) 平面図
 - (A) 給水装置工事申請時の平面図に準拠する。
 - (B) 第1止水栓の位置を図示する。
 - (C) 第2止水栓の位置・FJ・増圧ポンプ・警報盤の位置を図示する。【増圧】
 - (D) 非常用水栓の位置を図示する。【増圧】
 - (E) 方位
 - (イ) 立面系統図
 - (A) 給水装置工事申請時の立面図に準拠する。
 - (B) 第1止水栓の位置を図示する。
 - (C) 第2止水栓の位置・FJ・増圧ポンプ・警報盤の位置を図示する。【増圧】
 - (D) 非常用水栓の位置を図示する。【増圧】
 - (E) 縦管の立ち上がり付近のバルブ・先端のバルブを図示する。
 - (F) 空気抜き弁の位置を図示する。【3直】
 - (G) 給排気弁・水撃防止器具の位置を図示する。【増圧】
 - (ウ) その他
 - 撤去管の有無、その他協議事項について図示する。
- (3) 占用図【道・水路占用申請】
 - (ア) 平面図
 - (A) 道路幅員、センターライン、U字溝を図示する。
 - (B) 布設する給水管の口径・管種・管長（占用数量）を図示する。
 - (C) 隣地境界から布設する管までの距離を図示する。
 - (D) 舗装復旧する面積を記入する。
 - (E) 掘削部分、下水道管の掘削がある場合は、併せて記入する。
 - (F) 撤去管がある場合は、撤去管の管種・口径を図示する。
 - (G) 方位・縮尺を図示する。
 - (H) 用紙に収まらない場合は別紙とする。
 - (イ) 断面図
 - (A) 布設する給水管の口径・管種・管長（占用数量）を図示する。
 - (B) 地表から布設する管までの距離を図示する。
 - (C) 掘削数量の計算式を記入する。
 - (ウ) 案内図
 - 申請地を地図内に赤色で図示する。
 - (エ) 見取図

申請地を地図内に赤色で図示する。

(オ) その他

上記以外の事項については、企業団に確認すること。

(4) 先行取出工事設計図【先行取出工事申請】

(ア) 平面図

(A) 方位・縮尺（方位は北を上方とし、縮尺は 1/100～1/200 程度）を図示する。

(B) 布設する配水管の口径・管種・管長・立上りまでの取付位置・オフセット・給水用具の位置を図示する。

(C) 分岐管の口径、管種を図示する。

(D) 道路種別（道路区別、歩車道区分、水路、U字溝、復旧断面図）を図示する。

(E) 道路及び隣地境界（境界線、敷地寸法）を図示する。

(F) オフセット

① オフセットを計測する箇所は、配水管からの分岐位置を図示する。

② オフセットの測点位置は、境界杭から分岐位置（2 点以上）を図示する。

(イ) 立面図

(A) 縮尺はフリーとする。

(B) 平面図に準ずる。（平面図との整合を図ること。）

(ウ) 案内図

(A) 申請地を地図内に図示する。

(B) 住宅地図ページ、マッピング番号を記入する。

(エ) 復旧断面図

組成、埋設深さを図示する。

(オ) その他

(A) 既存水道番号がある場合は、使用する区画を明記すること。

例) 水道番号 XXXXXXX は、XX 区画で使用。

(B) 口径が 75 mm 以上となる場合は、作成する図面内容について事前に企業団と調整すること。

(C) 上記以外の事項については、企業団に確認すること。

4 図面表記

表 13-1…配水管・給水管の図面表記

種別	線種	線色
配水管	破線	黒
給水管	工事種別による	赤
連合給水管（認定）	工事種別による	黒
連合給水管（幹一有）	工事種別による	赤

表 13-2…工事種別による図面表記

給水管工事種別	線種
新規（新設管）	実線
改造（既設管）	破線

表 13-3…管種による図面表記

区分	管種	線種
I	ステンレス管（SUS）	1本線
	ダクタイル鋳鉄管（GX,NS,DT...）	1本線
	ライニング鋼管（VB・VD）	1本線
	石綿・石綿スチール管（AC・AS）	1本線
	架橋ポリエチレン管（PEX・PE）	1本線
II	耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HI）	2本線
	硬質塩化ビニル管（VP）	2本線
	ポリエチレン管（PP）	2本線

※ 提出前に予め平面図と立面図の整合を必ず確認する。

※ 立面図に明記した管長・管種・口径は、平面図にも必ず明記する。

※ スペースが足りず管長が明記できない場合は、該当部の詳細図を作成すること。